

つながる ～地域のつながりって大切なの？～

ねらい

- 子育ては、周りのいろいろな人とかかわりや支えの中で成り立つものであることを認識する。
- 地域・社会の協力があって、子どもたちは健やかに育っていくものであることを認識し、頼れる地域のあり様を考える。
- 親が地域の活動に目を向け、かかわりを振り返るきっかけとする。

概要

- 子どもと地域のかかわりについて、地域で育てられている、見守られていると感じることを話し合う。
- 資料等から、子育てを支える「地域」のあり様や協力関係について話し合う。
- 参加者の「気づき」等を出し合い、今日の学習を振り返る。

ポイント

【進め方の重点】

- 子育てにどんな人がかかわっているのか話し合うことから始め、自分が住んでいる地域に目を向けていく。
 - 子どもと地域のかかわりでは、地域の催しに参加しない、関係を求めたくないという意見も尊重し、子育てにおける地域の必要性を、無理に押し付けない。
 - 望ましい地域のあり方についての話し合いでは、自らもどのようにかかわりを持つのがよいのかを考える機会となるよう促す。
- 誰が、どんな時に、どんなことで子育てにかかわっているかを話し合い、子育てと地域のかかわりを考えるきっかけとする。
 - 話の中で、「地域のイメージがない」、「自分にとって地域は必要ない」との意見が出されることも想定されるので、地域で子どもが見守られていることが感じられる資料等を通して、望ましい地域のあり方について話し合う。「子どもを共に育む京都市民憲章」のエッセーやマンガは一例であり、他に有効な素材があれば活用する。
 - 最後に、地域で子どもたちのためにいろいろな活動をしている団体・組織(人)があることを資料として紹介する。

準備物

- 筆記用具 ● 資料(P36, 37)

プログラム進行例

時間	展開	ポイント・留意点
5分	<p>支援者から挨拶と自己紹介 今回のプログラムの趣旨説明 3つの約束の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 和やかな明るい雰囲気になるように心掛ける。 ● ねらい・活動の流れ等について、ポイントを絞って説明する。 ● 3つの約束を守るよう周知する。
10分	<p>アイスブレイク アイスブレイク集から適宜選択して実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 和やかな雰囲気作りとともに、参加者の自己紹介をかねる。 ● 状況により省略してもよい。
30分	<p>子育てと周りの人とのかかわりについての話し合い</p> <p>◎「自分の子育てを振り返ってみて、これまでにどのような人がかかわっていますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親、祖父母、友人、隣近所の人、保育所(園)・幼稚園・学校の教職員 など <p>◎「『今住んでいる身近なところ』ではどうでしょう。『どのような人とどんなことがかかわり』があるか、グループで話し合ってみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが外で遊んでいてけがをした時に、近所の人に家まで連れてきてもらった ・ 自治会や地域の各種団体の取組、町内の催し(地藏盆、夏まつり等)、登下校の見守り、子ども110番の家、区民運動会、写生会、キャンプ など 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの生活を振り返り思い起こす。 ● 誰にどんなことでかかわってもらったか記入し、数人に発表してもらおう。 ● 近所の人との個々のかかわりから考える。 ● 地域社会の親密な人間関係や協力関係の意義について考えるきっかけとする。 ● 地域の催しに参加しない、かかわりを求めたくないという意見があることも想定しておく(かかわりを持ちたくない理由を出してもらうことで、次の望ましい地域の話し合いを深めることに生かす)。
<p>重点 30分</p>	<p>子どもが育つうえでの望ましい地域のあり方についての話し合い</p> <p>◎「資料にある『地域とのつながりを考えよう!』を読みましょう。子どもが育つうえで、どのような地域とのかかわりがあればいいか、グループで話し合ってみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助けてもらって嬉しかったこと、周りに誰もいなくて困ったこと、辛かったこと等から ・ 自分が子どもの頃の地域の様子と比較して 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料を配布する。 ● 望ましい地域社会と現実とのギャップについて話し合うことから、自分が今行うべき行動につなげる。 ● 子育てには、地域の教育力が大きくかかわっていることを認識してもらおう。
15分	<p>活動の振り返り</p> <p>◎「それぞれのグループで、どのような話が出ましたか。グループごとに発表してもらいましょう。制限時間は3分ですので、まとめて話してください。」</p> <p>◎「ありがとうございました。今日は、子育てと地域社会との『つながり』を改めて考えていただけたと思います。子育ては孤立しては成り立ちません。『つながり』が大切だということに、気づいていただけただけでも、今日お集まりいただいた意義があったと思います。」</p> <p>◎「最後に、資料にある『子どもの育ちを応援』をご紹介しますので、自宅に帰ってからでも目を通してみてください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のグループではどんな話が出ていたのか、互いに聴き合う。 ● 子育てには、地域の人々のかかわりや支えが大切なことを、改めて考える機会としてもらう。 ● 資料にある『子どもの育ちを応援』を通して、子育てにかかわって身近なところでいろいろな取組をしている団体や組織があることを知ってもらう。